

## 目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【都島区】(受託者等:株式会社KEG・キャリアアカデミー)

		区の考え方等
1	地域課題・ニーズ等の状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナル駅や繁華街を有する地域、河川沿いの地域、集合住宅が大部分を占めている地域、独居高齢者の割合が多い地域など、取り巻く環境は大きく異なるにも拘らず、従来型の画一的な活動の継続が多く見られる。</li> <li>・全ての地域において、地域活動の担い手が固定化している。また、多様な主体との連携・協働にかかる意識が希薄である。</li> </ul>
2	当事業によりめざす状態	地域、企業、NPO、行政など多様な主体が協働し、自律的・民主的な地域運営が行われている状態           【現在の状況】           ・達成状況:77.5%           ・説明:ステージ1は概ね達成。今後は、ノウハウの継承、担い手拡充の取組強化が必要である。
3	当事業の目標	
	(1) 中長期の目標	地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合 82%以上           【現在の状況】           ・達成状況:85.3%           ・説明:地域のレベルに応じた個別支援が行われている。
	(2) 令和元年度目標	
	ア 「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	形成済の全地域活動協議会について、ステージ1の項目を全て達成の他、ステージ2・3(全26項目)のうち、各地域6項目以上の達成           【現在の状況】           ・達成:8地域           未達成:1地域
	イ 利用者アンケート調査	
	(ア) 自律的な地域運営	まちづくりセンターの支援がなくても、主体的に地活協(まち協)の運営を行えるようになってきていると思う割合(まちづくりセンター等の運営の参考とするためのアンケート 問4) 60%以上           【現在の状況】           まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4)           76.8%(①そう思う 22.3% + ②ややそう思う 54.5%)
	(イ) 中間支援組織の活用	まちづくりセンターの支援を受けた団体が、まちづくりセンターの支援について満足している割合(まちづくりセンター等の運営の参考とするためのアンケート 問1) 82%           【現在の状況】           (全般的に)まちづくりセンター等の支援について満足していますか。(問1)           89.2%(①そう思う 25.4% + ②ややそう思う 63.8%)
4	地域活動協議会の状況についての分析 上記2・3の【現在の状況】及び評価資料等を踏まえ分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律の進捗に地域差はあるが、ステージ1は概ね達成しており、全地域において取組は着実に進んでいる。</li> <li>・環境が異なるにも拘らず、従来型の画一的な活動の継続が多く見られる。</li> <li>・利用者アンケートによると、「企業・NPO等外部の活動主体との連携・協働の取組ができるか」について肯定的な回答をした割合が、上昇傾向にあるものの以前低い水準のままである。現在において外部連携はまだ未成熟な状態である。</li> </ul>
5	当事業による支援の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題やニーズについて、地域自らの気づきを促し、「従来型の活動」から「地域課題の解決に向けた活動」への転換を意識できるよう働きかけていく。</li> <li>・地縁型団体など従来からの担い手のみで活動するのではなく、企業等が地域運営に関わっていけるよう働きかけていく。</li> </ul>
6	目標達成に向けた戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域カルテの意義理解を促進し、活用・更新を定着させる。データ分析により可視化された課題やニーズを地域内で把握・共有することによって現状と理想との乖離を認識し、事業見直し等につなげていけるよう支援する。</li> <li>・企業等の連携・協働について、今年度収集したデータを活かし、地域と企業のより深い関係性を形成してゆく支援を行う。</li> </ul>